



広報 No.44

2023年 6 月

夏号



## 第 8 回ひら混ジョイ・コーラスを終えて

団長 館 和秀

5月28日ジョイ・コーラスは、笑いあり涙ありの中で好評をいただくことができました。コミュニティ協会平野区支部協議会の皆様、大変お世話になりました、御礼申し上げます。ほぼ半年にわたり混声4曲（うち「いつの日か」13曲メドレー）男声合唱4曲、女声合唱3曲をご指導いただきました鹿岡先生、竹村先生、そして葉谷先生、有難うございました。

コロナ明け、マスクなしで思いっきり歌えたのではないのでしょうか？団員各位、お疲れ様でした。

「いつの日か」メドレー13曲、子供のころから聴き・歌い・馴染んできた曲ばかり、観客の皆様の楽しんでおられる姿がステージへ迫ってきました。また、いつの日か、歌いたいですね。

秋にはコミュニティ合唱祭、田中めぐみ・鹿岡晃紀デュオコンサート、そして平野区クリスマスコンサートへと続きます。5月31日から第23回クリスマスコンサート「バッハ・カンターター147番」の練習が始まりました。うさぎ年、跳ねる姿から飛躍・跳躍、向上の年といわれています。今まで積み重ねてきたことが大きく発展し、実り多いコンサートへ向けて一致団結、邁進しましょう。



混声合唱団のための童謡メドレー「いつの日か」



♪谷間のともしび    ♪あなたとわたしと花たちと    ♪大地讃頌

## 鹿岡晃紀先生

演奏会が無事終わり、皆さんお疲れ様でした。

今後良くなっていくために、まず僕自身の反省からします。

本番では集中力が少し欠けてしまったのか普段しないところのミスがいくつかあったように思いました。これからは、リハーサルの仕方を考えるようにします。本番にいい声をもっていけるように、しっかりマネジメントをしていきたいと思っています。もうひとつは、せっかく本番会場と練習会場が同じところなので、本番の1か月前ぐらいからはステージで練習するのがいいかと思います。本番ではピアノの位置が違うので、伴奏が聞こえてくる方向が違います。戸惑いもあるかと思います。

皆さんの演奏の感想ですが、歌っているときの顔がとてもいきいきとしていました。いい顔で歌われていたのが、うれしかったです。指導している他団の方が「ひら混さんは、音の立ち上がりが堂々とされていてとても上手です。」と仰っていました。練習の賜物だと思います。「いつの日か」を果敢にチャレンジして13曲全曲演奏できたのは、素晴らしいと思います。これは誇れることです。お客さんの反応も良かったです。いい曲なのでチャンスがあれば、また演奏しましょう。

今回は予定より演奏時間がだいぶ長引いてしまったので、今後はタイムマネジメントをしっかりとしていきたいと思っています。

皆さん頑張ってくださいました。これからの演奏会に向けて、引き続きよろしくお祈りします。



♪とても君を愛している  
♪さびしいカシの木  
♪ああ友よ！なんと楽しい日！

## 竹村美和子先生

「いつの日か」という大曲を集中して立って歌われたのは、皆さん大変だったと思います。お疲れ様でした。

すごく良かったところ、ちょっと足りなかったところ、思うところがあります。日頃のレッスンで苦手な箇所を何度も練習しますが、確実にクリアしていただければと残念に思います。レコーダに録音して家で繰り返し練習するとかして、自分の練習方法を見つけてください。あれだけの曲をレッスン日の練習だけでは絶対に無理です。自分なりの工夫をしてください。お願いします。

これからに向けて頑張りましょう。

※ 竹村先生は、一部から三部までのすべての曲を伴奏していただき、ソロで2曲も弾いてくださいました。本当にありがとうございました。



♪月の光  
♪アンダンテ・カンタービレ



♪勝手にしやがれ  
♪贈る言葉  
♪大空と大地の中で  
♪また逢う日まで

♪歌の翼に  
♪バラ色の人生  
♪ハナミズキ





## 薬谷佳苗先生

このところ、本番の多い中、あのプログラムをみなさん良くこなされたと感心しています。一曲にかける時間が少ないと、どうしても細部まで行き届かないところが出てしまうのですが、そこは今後の課題ですね。



チーン・・・

司会進行、ソロ、おりん、と大忙しのステージありがとうございました！

♪夢破れて ♪翼 ♪うたうだけ

## アンケート抜粋（坂野俊行まとめ）

- ・ なつかしい歌を有難う。
- ・ 混声、男声、女声合唱やソリストコーナとバランスよく、いろいろ聴けて楽しめた。
- ・ きれいなハモリでとても良かった。
- ・ 先生方のピアノと独唱に感動した。
- ・ 合唱団の皆さんがとても楽しく、一生懸命歌っておられるのを見て、自分もいつか時間が出来たら参加したいなあと思った。
- ・ 皆さんの熱心な歌声に元気をいただきました。ソロパート(?)お上手です。
- ・ さびしいカシの木、お話しのアとの演奏を聴いて感動した！

## 「合唱と私の思い」

バス 竹田 博文

20年誌に入団経緯を記していますが、2011年1月に入団して、早いもので、13年目に入りました。

ドイツ語圏に5年の駐在経験で、ドイツ語は耳慣れていると思いきや、歌うというのはまた違っていました。合唱経験のない私にとって、初めての舞台は緊張し、出るところを間違ったりして、冷や汗ものであったことを思い出します。

3年前からのコロナの影響もあって、この10年で、凡そ3割減の団員数となっています。男性も減って、私より後からの入団者は4名と未だ若手(笑)です。ジョイ・コーラスのアンケートに記載されていた、見学希望の方の入団に皆さんご協力お願いします。

現在、平成29年に田中さんから引き継いだ会計(6年目)を主体に、委員会の議長と、副団長まで担当させていただいております。当初、会計は毎月会費徴収とチケット販売など仕事が大変でしたが、合理化で会費徴収を3か月以上に纏めてお支払い頂く事になって、仕事量は半分になりました。団員の皆様のご協力に感謝！感謝！です。同時期に始めた運転ボランティアも今年3月で解散しました。少しは時間が出来たので予習、復習に時間が取れるかなと思っています。大きな声を出すことは、健康的で身体にも良いですね。

最後に、会計を早く代わってよ！！

## 「この合唱団の魅力」

アルト 田辺 あゆみ

なんといっても、すてきな先生方に恵まれていることでしょう！

竹村先生のピアノは、ずっと聴いていたくなる癒しの音色です。「いつの日か」の女声練習の時、竹村先生が、童謡や唱歌がお好きだとおっしゃっていたのが、とても印象的でした。それを聴いて、子どもの頃にレコードで繰り返し聴いていたのを思い出しました。一昨年のクリスマスコンサートでの第九のピアノは圧巻！！歌い出しを忘れるほど聴き入ってしまいました。

鹿岡先生のご指導力にはいつも頭が下がります。親子ほどの年の離れた私たちの心をぐっと引き付けて、心地よく声を出させる技量！おだてられていると分かってはいても、つい乗せられてうまく歌えた気になる楽しさ。範唱してくださる歌声も、とっても魅力的です。

薬谷先生が来られると、指導者によって、自分の中の開けられる引き出しが違うんだ！という発見があり新鮮です。先生の響きを思い出しながらアルトの発声を心がけています。

歌って楽しい！と思わせてくださっている先生方に感謝してやみません。



## バッハのカンタータ第 147 番

「主よ、人の望みの喜びよ」は、教会カンタータ\*第 147 番『心と口と行いと生きざまもて』の第一部、

第二部を締め括るコラール(賛美歌)の合唱です。マリアのエリザベト訪問の祝日のために、バッハが 1723 年に作曲したと推測される教会カンタータで、全 10 曲からなり『主よ、人の望みの喜びよ』の名で広く親しまれているコラールが第 6 曲と第 10 曲に登場します。

### 第一部

- 第 1 曲 合唱「心と口と行いと生活で」
- 第 2 曲 レチタティーヴォ\*\*「祝福されし口よ」
- 第 3 曲 アリア「おお魂よ、恥ずることなかれ」
- 第 4 曲 レチタティーヴォ「頑ななる心は権力者を盲目にし、最高者の腕を王座より突き落とす」
- 第 5 曲 アリア「イエスよ、道をつくり給え」
- 第 6 曲 コラール「イエスはわたしのもの」

### 第二部

- 第 7 曲 アリア「助け給え、イエスよ」
- 第 8 曲 レチタティーヴォ「全能にして奇跡なる御は」
- 第 9 曲 アリア「われは歌わんイエスの御傷」
- 第 10 曲 コラール「イエスは変わらざるわが喜び」

バッハは、カンタータを実に 200 曲以上も作曲しているそうです。

この曲は、最初はオーケストラ伴奏による合唱フーガで喜ばしい気持ちが歌われる。中間部の信仰を告白する場面ではフーガでなくなり、合唱だけで歌う。ソプラノのアリアにはヴァイオリンの助奏、アルトのアリアには、ダブルリードの木管楽器の一種であるオーボエ・ダモーレの助奏がついている。テノールのアリアには通奏低音の伴奏、バスのアリアにはトランペットとオーケストラの伴奏が入ったものになる。4 つのアリアは性格が異なりどれも素晴らしい。

これらのことを踏まえて、カンタータ 147 の演奏を聴いて(練習用 CD に入っている)曲の理解が深まればいいですね。

\***カンタータ**とは、17～18 世紀のバロック時代に発展した声楽曲の一形式。独唱・重唱・合唱と器楽伴奏より成るもので、元来プロテスタント最大の教派であるルーテル派の礼拝前の説教の前とか、あるいはそのあとに演奏されたもの。歌詞は、その日に朗読される聖書の使徒書簡や福音書などを説明するようなものが使われています。

\*\***レチタティーヴォ**とは、オペラ、オラトリオ、カンタータなどの中で、主人公の心情を抒情的に歌うアリア(詠唱)に対し、主人公のおかれた状況や物語としての展開を話し言葉で語るように歌う部分のことで、「叙唱」とも言われる。

(車田和寿の名曲解説他より)

## 今後のコンサート予定

- |                         |              |                |
|-------------------------|--------------|----------------|
| 第 11 回大阪市コミュニティ合唱祭      | 9 月 10 日(日)  | 旭区民センター・大ホール   |
| 第 2 回田中めぐみ・鹿岡晃紀デュオコンサート | 11 月 5 日(日)  | 守口市立図書館 多目的ホール |
| 第 23 回平野区クリスマスコンサート     | 12 月 10 日(日) | コミュニティプラザ平野    |

**編集後記** 団だより作成にあたりご協力頂きました皆様、ありがとうございました。今回のジョイ・コーラスでは暗譜と早口言葉のようなテンポに悩まされました。今後のコンサートでも暗譜した 2 曲は歌うそうなので、忘れないように時々歌いましょうね。

クリスマスコンサートで歌う、バッハの「カンタータ 147」をコーヒーブレイクに載せるにあたり、Google や YouTube など勉強しました。しかし、説明に使われている用語すら理解できなくて、その用語の意味をも調べなくてはなりませんでした。おかげで、バッハはカンタータを約 300 曲作ったが、長男がそれを売り飛ばすなどの管理不足で、残っているものが約 200 曲になったことや、曲で使われるトランペットは神の言葉を象徴する楽器でもあること(そういえば、教会の天使はラッパを吹いている)、カンタータには教会カンタータと世俗カンタータがあること、などのエピソードも知ることができました。

(広報 萩原・鳥居)